

岳陽新聞

2月2日 金曜日 2018年(平成30年)

発行所 岳陽新聞社
〒418-0002 富士宮市中原町7番地
☎(0544) 24-9050 FAX (0544) 24-9007
購読料 1ヵ月630円 1部売り 50円

天然温泉 さくやの湯
スーパーホテル 富士宮
ご予約は ☎0544-22-9000
富士宮市ひばりが丘695(富士宮ハイパス沿) 88台無料

2月市長定例会記者会見

2月市長定例会記者会見が1日、市役所で開かれ、須藤市長は来年度予算案を発表した。

須藤市長は、平成30年度一般会計の予算を前年度比7億6千万増(1.8%増)となる42億1千万増と発表し、「輝く世に意欲みなぎる予算」と名付けた。

同予算は、市が社会福祉費増大や人口減、公共施設等の老朽化対応など諸課題を抱える中、第五

富士宮市、平成30年度予算を発表

芦澤副市長、再任へ

「子育て支援で人口増」「観光地化で集客」
前年度比7億6千万増の42億1千万増

次総合計画3年目として、目指す将来都市像の実現に向け、さらに大きく飛躍する年として、積極的な財政出動を決定した。

市は総合計画3つの重点目標を掲げ、▽「恵み豊かな未来づくり」世界遺産富士山の恵みを保全し、活用する。▽「いきいき元気な未来づくり」安全・安心なまちで、健康を育み元気に暮らす。▽「誰かが輝く未来づくり」



須藤市長が「輝く世に意欲みなぎる予算」と発表

点目標を掲げ、▽「恵み豊かな未来づくり」世界遺産富士山の恵みを保全し、活用する。▽「いきいき元気な未来づくり」安全・安心なまちで、健康を育み元気に暮らす。▽「誰かが輝く未来づくり」

の神田川護岸を通年でライトアップし、夜景色として集客を図る。まちなかエリアライトアップ工事費に、300万円をかける。

また、神幸橋から大宮浅間橋までの神田川の人力清掃に72万円と、神田川の河底に堆積するゴミ等を回収することなどで美観の保持を図る神田川清掃委託料に230万円を算入し、同川の水質維持を図る。

今夏に日本高校会議所設立総会を本市で開催することとなっている富士宮高校会議所へは、市イベント参加や地域活性化イベント企画など、多様な貢献と活動協力展開を行なっていると、50万円を算入し、活動を妨げない程度に補助を図る。

富士宮経済NEWS

ふじのみや寄付金(ふるさと税)5億円突破

「ふじのみや寄附金」の納付額が5億円を突破したと発表した。

市は平成27年度から、本市を幅広く応援してもらおうと市外の個人寄附者に対し、感謝の気持ちとして返礼品の贈呈を行なってきた。

今年度も、返礼品の拡充や申し込み窓口の充実を図り、ふるさと納税の受け付けを積極的に展開している。

1月4日現時点で申し出が約3万7400件、申し出金額は前年度同次の2、2倍となる5億円となり、大幅増となったことが今回明らかとなった。

市は「今後とも富士宮市の魅力を発信し、より多くの方に富士宮市を応援していただき、ふるさと納税の受け付けを積極的に展開してまいります」としている。

受入拡大のための人員費助成に1760万円を計上する。水面下の待機児童解消を支援する。過疎地域での少子化問題を抱え、全国的にも学校統合の動きが進むが、須藤市長は学校による地域コミュニティ維持の効果を活かし、小学校、中学校、市民参加・行財の7つの基本目標に関する事業費に約5億3800万円を計上した。

また、環境や産業、健康福祉、教育文化、都市整備、市民生活、市民参加・行財の7つの基本目標に関する事業費に約5億3800万円を計上した。

特別会計および企業会計を含めると、前年度比約7億2700万円増の87億0000万円となった。

一般会計予算の前年度比1.8%増額は、社会福祉費3億増、健康福祉費3億増、教育文化費3億増などとなっている。

世界遺産構成資産については、「まだ残り残したことがある」とし、売店集約化や昔橋塗装、東エリア駐車場整備など白糸の滝整備の継続や、シエラタワーや展望台設置で観光整備がスタートした。穴富士講道場の整備事業など更紗整備事業に3億1854万円を算入した。

観光では新規事業として、世界遺産センター前に、0歳児から18歳まで、お誕生のおめでとう

「あす節分の豆撒き」
◆あすは二十四節気「節分」です。
節分の夜に暴れる鬼を追い払う行事が「鬼やらい」の豆撒きです。旧暦と共に中国から宮中に伝わった「追儺の節」がしだいに民間に広まったもので、立春前夜の節分は鬼を遣(や)らう夜で、俳句の季語には「鬼やらい」とあります。

◆節分の豆撒きは、旧暦時代に新しい年と新しい春の訪れを迎える間の古い年を司る神が去り新しい年の神がやってくる「年の神」が入り替わるわずかな時間の隙間に付け込んで邪悪な鬼が悪さをすることを防ぎ、鬼を追い払う行事として伝えられてきた「鬼やらい」です。悪い鬼たちの悪さから守るため、焼いた鰯(イワシ)の頭を枝(ひいらぎ)の小枝に刺して玄関に掲げ、大豆を炒って、日が暮れると目に見えぬ鬼を追い払うために行なう風習が伝わったもので、

赤池翔太(案次) 北町
前田治親(恵美) 東阿幸
杉井世那(紗理) 野中

稲葉庄吾(42) 小泉16
望月保高(88) 村山42
0番地の2

深澤幹雄(67) 内房30
04番地の1

「古事記」には、死んだイザナミを採って黄泉へ下ったイザナギが、鬼に変わったイザナミの醜い姿を盗み見したために黄泉の軍勢に追われ、とっさに傍らの木から桃の実を3個ちぎって投げつけ、追っ手の軍勢を退散させた、とあります。

大豆は「古事記」にも栽培法の記述があり、日本に渡来したのは縄文時代で、現在では約60品種が栽培されています。マメ科の一年草で、夏に淡紫色の花をつけ、大豆もあれば、青大豆もあり、お正月の黒豆も大豆の一種で、枝豆は熟していない大豆です。

現代では、豆を撒いて鬼を追い払いますが、古くは桃の弓に蘆の矢をつがえて放ち、鬼を射ました。京都平安神宮の「鬼やらい」大雛の儀では、四つの目を付けた方相氏(ほうそうじ)が矛で盾を打ち鬼を睨み付け、上脚(じょうけい)が桃の弓で蘆の矢を射かける神事が行なわれています。

現代の鬼は、不誠実で私利私欲を謀り不正に公金を懐に入れる悪巧みや誤魔化しをする者たちの中にいます。「節分」に邪悪な鬼たちを追い払う「豆撒き」、利権漁りに果敢と公金を貪る現代の鬼たちもしっかりと追い払わなければなりません。

節分の豆は「年の豆」として、年の数だけ食べると一年を無事健康に過ごすことができると伝えられています。迎える新しい春の厄を祓う節分の豆には「魔除けになるから身につけておくと災難を防ぐ」「節分豆を自分の年齢よりも一つ余分に食べると健康で過ごせる」などの言い伝えがあります。「年の豆」を食べ、心の中の鬼も追い払いましょう。

◆「あの人は、マメな人だ」という場合の「まめ」は、「忠実」や「実」という漢字を並べます。「真実(まこと)」が変化して「真目(まめ)」のこと、真面目で誠実なことを意味するようになったので、「真目(まめ)」というようになり、よく気がつき、面倒がらずにできばせなす、という意味合いも加わり、音も同じなので、「豆」にかけて忠実であることができるようになったの願ひも込められるようになった言葉です。栄養豊富な豆にかけた「まめ」という言葉には、心と体の健康の願ひが込められています。

現代の鬼は、不誠実で私利私欲を謀り不正に公金を懐に入れる悪巧みや誤魔化しをする者たちの中にいます。「節分」に邪悪な鬼たちを追い払う「豆撒き」、利権漁りに果敢と公金を貪る現代の鬼たちもしっかりと追い払わなければなりません。

「あす節分の豆撒き」
◆あすは二十四節気「節分」です。
節分の夜に暴れる鬼を追い払う行事が「鬼やらい」の豆撒きです。旧暦と共に中国から宮中に伝わった「追儺の節」がしだいに民間に広まったもので、立春前夜の節分は鬼を遣(や)らう夜で、俳句の季語には「鬼やらい」とあります。

◆節分の豆撒きは、旧暦時代に新しい年と新しい春の訪れを迎える間の古い年を司る神が去り新しい年の神がやってくる「年の神」が入り替わるわずかな時間の隙間に付け込んで邪悪な鬼が悪さをすることを防ぎ、鬼を追い払う行事として伝えられてきた「鬼やらい」です。悪い鬼たちの悪さから守るため、焼いた鰯(イワシ)の頭を枝(ひいらぎ)の小枝に刺して玄関に掲げ、大豆を炒って、日が暮れると目に見えぬ鬼を追い払うために行なう風習が伝わったもので、

大宮美粧院
大宮小○ 大宮保南園
大宮美粧院 大宮駅前
大宮美粧院 大宮駅前

【駐車場完備】
営業時間/ 9:00~18:00
定休日/ 毎週月曜日・第3日曜日・火曜日

電話予約優先
できれば前日までにお電話下さい。

0120-04-0224
0544-24-0224

富士宮市大宮町5-12 ☎0544-24-0224

富土ケアセンター
精神科・心療内科・内科
富士リハビリ病院
介護老人保健施設

418-0035 富士宮市星山一〇二二
☎0544-24-0224

富土ケアセンター
富土ケアセンター

光月堂
富士宮市朝日町7-10
(富士フィルム通り) 田&FAX27-2181

家庭の愛情のなかで
人間形成の基礎を育てる
愛育託児所
富士宮市川町三番九号
☎0544-42615834